

韓国語セカイ
を生きる
韓国語セカイ
で生きる

AI時代に「ことば」ではたらく**12人**

浅羽祐樹 朴 鍾厚 [編著]

奥奈津子 黒島規史
成川 彩 林 炫情
大貫智子 新井保裕
浅見綾子 梁 紅梅
木下 瞳 辻野裕紀

朝日出版社

もうひとつのセカイへ、ようこそ

浅羽祐樹

「ことば」が通じなくて悔しい思いをすることがしょっちゅうある。最近、40代後半オジサン教員にとってショックだったのは、ゼミ生から「先生、教室だとそんなことないんですけど、LINEだと。」が多くて、なにより文が長いので、怒っているようにみえる」と言われたことだった。「オマエラこそ、メールに宛先を書かず、いきなり本文、しかも「～してください」とほとんど命令文を平気で送ってくるじゃないか」というひとことをグツと飲み込み、「ええ！！そうだったの??？」と、メディアごとにふさわしいコミュニケーションのあり方について反省を迫られた。「オワコン (꼰대)」にならないように、毎日、「訂正」の繰り返しである (東 2023a ; 東 2023b)。

「ことば」が通じないときこそチャンスである。これまでの「当たり前」を見直し、「訂正」できるからである。「文末を句点で終える」というのは、いつでもどこでも誰にでも通じるわけではなく、時 (Time) と所 (Place) と場面 (Occasion) (以下、TPO) に応じて「ふさわしさ」は異なるし、これから新しいメディアの登場や関係性のなかで、常に変わっていくのである。

そういう局面で「すねてしまう」ともったいない。外務省が主催する大学生向けの「国際問題プレゼンテーション・コンテスト」に学生グループが応募し、選に漏れたが、本選を一緒に観戦しに行ったことがある。外交官の畏友と、全日本ディベート連盟代表理事 (当時) である故・瀧本哲史氏 (瀧本 2011) も同行してくれ、終了後、月島でもんじゃ焼きを食べながら、みんなで本選出場チームの出来を忌憚なく論評した。さらに、「大人」3名は、コンテストそのものの

あり方や審査員評についても論評を始め、学生たちはついてこれなくなかった。このとき、「わたしたちにもわかる「ことば」で話してくれなかった」とすねてしまった学生と、「この話がわかるようになりたい」と決意した学生とに分かれた。卒業までしか見届けていないが、見違えるように伸びたのは後者のタイプである。

1年間の韓国留学（わたしの現任校だと、語学堂ではなく、「SKY（ソウル・高麗・延世）」の正規課程で学修する）に行って帰ってきた学生も、2つのタイプに分かれる。ひとつは、発音や抑揚は「ネイティブっぽく」なり、「わたしはデキル」と高揚感に包まれている。しかし、韓国語論文をレポートや卒業論文に引用したり、なにか意味のあるテーマについて15分間、プレゼンしたりできるようになっているわけではない。新聞の社説やコラムを訳出させると、語彙も不足しているし、漢字語はほぼ直訳しかできない。もうひとつのタイプは、「ある程度、自信はついたが、ChatGPTなどAI（人工知能）が飛躍的な進歩を遂げるなか、人間、しかも、この「わたし」にしかできないことを必死で身につけないといけない」と、自己肯定感と同時に知的謙虚さがにじみ出ている。

韓国語「中級」レベルだと、「読む」「書く」はChatGPTと大差なく（瞬時に処理できない分、人間は絶対に「敵^{かな}わない」）、「聴く」「話す」も、字幕の自動生成や機械音による通訳アプリの進展が著しい。

たとえば、新海誠監督のアニメ映画『すずめの戸締り（스즈메의 문단속）』は日韓両国で大ヒットしたが、小説版もあり、映画版には入りきらなかった（わざと入れなかった）描写があるなど二重に楽しめるし、日本語版と韓国語版を対照するのもおもしろい。以下、ネタバレはないので安心して読み進めていただきたい。

「壊れてしまいそうなすずめの泣き声を聞きながら、私は思った。でも、だめだ。このままじゃだめだ。私は泣きやまなくてはならない。すずめと私とは違うのだ。私は今も弱いままだけれど——すくなくとも、あれから十二年は生きたのだ。生きてきたのだ。すずめは一人きりだけど、私はもうそうではないのだ。私がいま

何かをしなければ、すずめはこのまま本当に真正に、この世界に一人きりになってしまう。生きていけなくなってしまう。」

(新海 2022: 356)

クライマックスに該当する小説版のこの場面は、映画には台詞としては登場しない。ChatGPT 3.5 にかけると瞬時に以下のように訳出される。

고장나갈 것 같은 참새의 울음소리를 듣고 나는 생각했다. 하지만 안 된다. 이대로는 안 된다. 나는 울지 않아야만 한다. 참새와 나는 다르다. 지금도 나는 약하긴 하지만, 최소한 12년은 살아왔다. 살아왔다. 참새는 홀로인데, 나는 더 이상 그렇지 않다. 지금 무언가를 해야만 하는데, 참새는 이대로 진정되고 정말로 이 세상에서 혼자 남아버릴 것이다. 살아갈 수 없게 될 것이다.

固有名「すずめ」が一般名詞「雀（참새）」になっているのは仕方ないとして、「一人きり（홀로）」や「真正に（진정되다）」は上手い下手以前に、明らかに誤訳である。とはいえ、それ以外はそこそこ意味が通じる。韓国語版（新海／ミン・ギョンウク訳 2023: 332）ではこうなっている。

무너져 버린 듯한 스즈메의 울음을 들으며 생각했다. 하지만, 안 돼. 이대로는 안 돼. 울음을 그쳐야 해. 스즈메와 나는 달라. 나 역시 지금도 약하기는 하지만, 적어도 이후로 12년을 더 살았다 살아온 것이다. 스즈메는 외톨이지만 이제 나는 아니다. 내가 지금 원가 하지 않으면 스즈메는 이래도 정말, 완전히, 이 세상에서 혼자 남게 된다. 살아갈 수 없게 된다.

日本語版で傍点が付されていた箇所は斜体表記である。「真正に」は「완전히（完全に）」に意識されている。しかも、前後に、句点が挿入されることで、「정말（本当に）」と合わさって、「一人きり」

の「独りぼっちであること (loneliness)」(アレント 1994) が際立つ。「生きたのだ。生きてきたのだ。(살았다. 살아온 것이다.)」は当然、訳し分けられている。これが、機械翻訳と「プロフェッショナル 仕事の流儀」の決定的な差、この「わたし」にしかできない「最上級」レベルである。

別の例を挙げたい。

わたしは政治学者なので、「与小野大」国会 (여소야대 국회) の訳し方でその人の韓国語運用能力や「ことば」に対するセンシティブティを「値踏み」できていると思っている。「与小野大」国会とは、与党が少数派で野党が多数派の国会のことで、尹錫悦政権が直面している政治状況だが、そのままだと日本語としては通じない。そこで意識することになるのだが、「少数与党」「野党過半数」国会などがカードとしてありうる。外務省で英語の通訳担当官を務めた畏友が「手持ちのカードを一枚でも多くしておくこと」の重要性を1年生に向けて話してくれたことがあったが (田村・浅羽 2018)、まずは「カードをたくさん集める」局面がある。そのうえで、「どのカードを切るか」が (同時) 通訳だと瞬時に試される。

逆に、2000年代、しばしば日本でもみられた「ねじれ国会」(衆議院と参議院で多数派が異なる) を ChatGPT にかけて、「휘청거리는 국회」と直訳で、今のところ、使い物にならない。わたしならば、語りかける相手が一般市民なら、「일본형 여소야대 국회 (日本型「与小野大」国会) と訳す。「与小野大」国会という韓国社会で定着している概念に「日本型」と追記するだけにとどめる。それは、韓国的一般市民は日本が議院内閣制で、かつ、二院制ということを知らないというふうに見立て、不用意に負荷をかけないためである。相手が政治学者ならば、「양원제 의원내각제형 여소야대 국회 / 분점정부 (二院制議院内閣制型「与小野大」国会 / 分点政府) という別のカードを切る。大統領制において大統領と議会多数派の党派構成が異なることを「分割政府 (divided government)」、同じことを「統合政府 (unified government)」というが、漢字語で訳出する際に、日本語では「分割／統合」、韓国語では「分点 (분점) / 単点 (단점)」とズレが生じていることまで踏まえたいといけない。

「人を見て法を説け」というが、TPOに応じてふさわしく使い分け
るためには、「まずはカードを増やし、どのような場面ではどのカード
を切るのか」の実例にたくさん触れることが大切である。

韓国に在住する外国人数は2023年9月30日現在、251万人で、
コロナ禍以前の水準を超え史上最高で、全人口に占める率も4.9パ
ーセントに達する。「多文化家庭」も含めると、すでに「韓国民は
韓民族だけで構成されていない」し、「韓国語」は「韓国人」だけが
話しているわけではない。尹錫悦政権は「在外同胞庁」を設立し、
750万に及ぶ「在外同胞」の權益増進に努めているが、ロサンゼル
ス、上海、大阪、さらにはタシケント（ウズベキスタン）やハルキ
ウ（ウクライナ）などでは、それぞれのホスト社会や「国語」「公用
語」とのあいだで「葛藤(갈등)」しながら、たとえば「在日朝鮮語」
などの「クレオール（混成語）」が常用されている。いまや、World
EnglishesならぬWorld Koreansなのである。本書は「韓国語」と
冠しているが、「朝鮮語」や「日韓ミックス語」（チンチャ(진짜)
それな(ホンマそれ)）など）などにも開かれている。

「すずめと私とは違うのだ」（新海 2022: 356）とあるが、「十二
年」前の出会いがなければ、「私」は今も「一人きり」のままだった
かもしれない。韓国語との出会いも、政治学や新しい「ことば」と
の出会いも、このままでは通じない経験も、全部、「もうひとつのセ
カイへ」とあなたを誘ってくれている。この「いま・ここ」の「外」
へ、「先」へと扉を開けてみてほしい。ただ、「踏み出す一歩目は小
さくてもいい／大きな勇気がいるから¹」（池田綾子「空の欠片」）。

この韓国語セカイに集った12名もそうした不安と勇気を合わせ持
った冒険者たちである。わたしたちもまだまだ旅の途中で、“Make
the unfamiliar familiar, and the familiar unfamiliar. (はじめは
違和感があっても徐々に親しんでいくと同時に、馴染んでいたはず
のものが毎回新しく映る)”の連続である。合わせ鏡のように、日本
語セカイの「は」「が」の違いや現在形・過去形の使い分けが気にな
ってしかたがなくなる。

¹ JASRAC 出 2403947-401

一文一語が「気になりだす」と機械的に置き換えるだけでスラスラと進まなくなるが、スポーツでも語学でも、一直線上に伸びず、停滞しているように感じる時期（プラトー plateau:「高原」が原義）がある。「蝶」になる前には必ず「さなぎ」になるが、身動きができないもどかしさに耐えてこそ、一皮むける。跳躍する秋が来る。

お笑い芸人のパッキンの話す日本語について「ネイティブっぽくない」とバカにする人がいたら、むしろその人の品位が疑われるだろう。たしかに、抑揚には、母語の干渉がわずかながら残っているが、コミュニケーションに関する本を日本語で何冊も書いているし（たとえば、ハーラン 2014）、TPOに応じた使い分けは「ふつうの」「日本語ネイティブ」が到底及ぶものではない。ほかに、ティムラズ・レジャバ駐日ジョージア大使 (@TeimurazLezhava) も、ツイッター（現「X」）でなんどもバズる高度な日本語運用能力の持ち主だし、日本でほとんど馴染みのなかったジョージアにまず馴染んでもらい、そのうえでシクメルリやワインを売り込むなどやり手である（レジャバ・ゴギナシュヴィリ 2023）。その大使でさえ、話すほうは「ネイティブっぽい」とは言えないが（Channel I-House ウェブサイト）、問題にする人は誰もいない。

韓国語や日本語に限らず、「ことば」は「人の間」を取り持ったり、分かたりする。発音や抑揚の正確さも、もちろん、大切だが、語彙の豊富さ、TPOに応じた「ふさわしさ」をそのつど見極め、カードを切ることが欠かせない。本書に集った十二人十二色の「ことば」との出会い、それぞれの「葛藤」、カードの集め方や切り方と照らし合わせることで、「わたし」「いま・ここ」が「別様になりうる」という人生という旅路=探求へ、ようこそ！

参考文献

東浩紀 (2023a) 『訂正する力』朝日新書

東浩紀 (2023b) 『訂正可能性の哲学』ゲンロン

アレント、ハンナ (志水速雄訳) (1994) 『人間の条件』ちくま学芸文庫

新海誠 (2022) 『小説 すずめの戸締り』角川文庫

瀧本哲史 (2011) 『武器としての決断思考』 星海社新書

ハーラン、パトリック (2014) 『ツカむ！話術』 角川oneテーマ21

レジャバ、ティムラズ・ゴギナシュヴィリ、ダヴィド (2023) 『大使が語るジョージア
観光・歴史・文化・グルメ』 星海社新書

田村優輝・浅羽祐樹 (2018) 「新しい「ことば」の学び方——「一身にして二生を経る」
時代を生き抜くために」 SYNODOS ウェブサイト、2018年3月30日

<https://synodos.jp/opinion/society/21263/>

Channel I-House (国際文化会館) 「Ambassador in Town #2 ティムラズ・レジャバ
駐日大使」 2023年3月17日公開

<https://www.youtube.com/watch?v=yaoenhNfq60>

신카이 마코토 (민경욱 옮김) <스즈메의 문단속> (대원씨아이, 2023년)

目次

もうひとつのセカイへ、ようこそ…………… 3

第1部

- ① 奥奈津子 外交と韓国語…………… 15
- ② 成川彩 映画字幕翻訳から考える日本語と韓国語のセカイ…………… 33
- ③ 大貫智子 言語のプロでない記者が外国語を身につける楽しさ
…………… 53
- ④ 浅見綾子 韓国語教材の編集のセカイから韓国語学習者への
メッセージ…………… 71
- ⑤ 浅羽祐樹 「ことば」と政治・外交…………… 89
- <実践編 ～間奏曲～> …………… 108

第2部

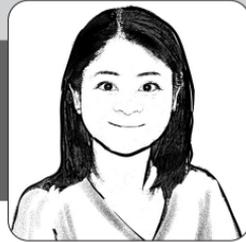
- ⑥ 木下瞳 韓国語の「楽しさ」を見つけるための学習方法を考える
…………… 115
- ⑦ 黒島規史 沈黙は金、雄弁は銀？
——韓国語初級文法の深みと教員の葛藤…………… 135
- ⑧ 林炫情 「社会語用論」の窓から見る韓国語のセカイ…………… 155
- ⑨ 新井保裕 SNS × KOREAN 母語話者を超越する韓国語セカイへ
…………… 173
- ⑩ 朴鍾厚 日本の韓国語教育セカイを散策しながら…………… 193
- <実践編 ～間奏曲～> …………… 212

第3部

- 11 梁紅梅 中国朝鮮族の移動と言葉…………… 219
- 12 辻野裕紀 逃避と幸福の言語論…………… 239
- AIも仲間にして、旅をつづける…………… 259
- 「学習者」のためのキーワード索引…………… 264

奥奈津子 (오쿠 나츠코)

現職：在ニューヨーク日本国総領事館領事 /
広報センター次長



●好きな韓国語「시작이 반이다」

「始めさえすれば半分まで到達したも同然」という意味。思い切って一歩踏み出してみようとするときに背中を押してくれる言葉。あれこれ思い悩むよりも、まずは行動を起こしてみよう。

●韓国語の学習方法

【中級のころにやっていたこと】

- ・小説を読んで心に響くフレーズをノートに書きだすこと。当時のお気に入り、キム・ヨンハ著『엘레베이터에 낀 그 남자는 어떻게 되었나』。ストーリーの続きが気になり、辞書を引くのも苦にならず夢中になって読み進めた。読み終えたとき、韓国語セカイがぐっと深まった手ごたえがあった。
- ・日記添削。あくまで本心を赤裸々に自分の言葉で語ることが大事。自分の言葉で書いたものを添削してもらってこそ、自然なアウトプットにつながった。

【今つづけていること】

- ・現在はニューヨーク在住のため、インプットに注力。コリアンアメリカンの歴史、社会、アート等、ニューヨークにいるからこそ出会える韓国に関する知識や人脈を広げる努力を続けている。このインプットが韓国語を専門とする外交官としての深みを増してくれると信じて。



キーワード

外交官

添削

通訳

日韓関係

ニューヨーク



ここがポイント

- ・ 外交官はどうやって韓国語を勉強した？
- ・ 外交の現場ってどんなセカイ？
- ・ いざというときに助けてもらえる友人づくり

外交と韓国語

奥奈津子 (在NY日本国総領事館)

外交官の韓国語習得法 ～最大の課題は中級からの脱出～

まずは2年間の在外研修へ

ニューヨーク (NY) の喧騒のなかで、ふと落ち着く場所があるとすれば、それはマンハッタン32丁目のコリアンタウンである。ハングルで書かれた看板、キムチ、焼肉、いろんなものが混ざったなんともいえない懐かしい匂い、行き交う人々の韓国語。それらが一気に私を韓国に引き戻す。おそらくこれは韓国で外交官生活を送った者ならではの感覚であろう。

そんな私は、大学時代から韓国語を勉強していたが、本格的に身につけたのは、外務省に入ってからである。外務省に入ると、在外研修といって、2年間、割り当てられた言語を習得するために留学しなければならない。目指す語学力について明確なゴールが設定されているわけではないが、2年間の研修を終えて、大使館や総領事館での実務が始まったときに通訳ができるようになっている必要がある。私には韓国語が割り当てられ、ソウルで在外研修を受けることになった。

外交官という職業柄、国際関係を専攻として学ぶことに決め、先輩の薦めもあり、韓国の外交官を多く輩出するソウル大学外交学科(当時)の修士課程に入学した。しかし、課題として読まなければならない文献のほとんどが英語。また、授業での発表や討論、レポー

AIも仲間にして、旅をつづける…

浅羽祐樹

うらやましい。真似したいと思った。

共著者の奥奈津子さんはわたしと同じ2000年代初めに同じソウル大学で学んでいたが、「中級のころにやっていたこと」がまるで異なる。毎日、「心の動き」について日記を書き、フランス文学を高麗大学大学院で学んだ「宣善オンニ」に添削してもらっていたという。その一端（18-20ページ）を垣間見て、上級になったはずの「今」、いちばんしたいこと、してもらいたいのはコレだ！と声を上げた。

そんな「宣善オンニ」は、生成AIの飛躍的發展によって、すでに「わたし」の傍にもいる。スマホのアプリにChatGPTをダウンロードしよう。最新版のGPT-4oは、テキストはもちろん、音声や画像も瞬時に読みとり、自然に対話できる。

ウインドウにこう書き込む。

日記をつけています。まず、日本語で書き、韓国語にしました。この韓国語を、より自然な韓国語になるように添削してください。

またいつもの生活が始まった。波乱万丈の旅行だったが、ソウルではない別の場所に行くことでしっかり気分転換することができた。

다시 보통생활이 시작되었다. 파란만장한 여행이었지만 서울이 아닌 다른 데에 가는 것으로 기분전환을 잘 할 수 있었다.

すると、瞬時に、こう返してくれる。

韓国語（添削後）

다시 일상으로 돌아왔다. 파란만장한 여행이었지만, 서울이 아닌 다른 곳에 다녀와서 기분전환이 잘 되었다.

修正ポイント

- 다시 보통생활이 시작되었다→다시 일상으로 돌아왔다: 「보통생활」よりも「일상」の方が自然です。
- 다른 데에 가는 것으로→다른 곳에 다녀와서: 「다른 데」より「다른 곳」がより自然で、「다녀와서」という表現が適切です。
- 기분전환을 잘 할 수 있었다→기분전환이 잘 되었다: より自然な表現に変更しました。

自習するには、これで十分である。ここでは再現できないが、スピーキングの練習相手にもなってくれる。

「中級にオススメの勉強法を教えて」だと一般論しか返ってこないが、「いま・ここ」における「わたし」の「葛藤 (갈등)」を具体的に打ち明けると、実に頼りになるメンターである。共編者の朴鍾厚さんが言うように、「AIとの上手なワーク (協働)」(209ページ)がひとりひとり、問われている。韓国語に限らず、生身の語学教員は、テキスト偏重の教育から、音声、画像や動画も含んだ「ことば」のやりとりや、TPOに応じた立ち居振る舞いへと、見直し³が迫られている時代である。

このように学習環境がすっかり様変わりしたなか、「わたし」たちはどのように学ぶのか。わたしたち12人も、同じ「永遠の学習者」として試行錯誤をつづけていく。

2024年度、わたしは同志社大学から「安息年 (在外研究)」の機会を得て、19年ぶりにソウルで生活している。韓国語については2つ、目標を掲げている。ひとつは、受け入れ先の統一研究院 (金千^{キムチヨン})

植院長)で「懸案分析」のレポートを書いたり、セミナーで報告したりすることで、自分の分野に関する「書く」「話す」能力をサークル内で「認定」されることである。もうひとつは、寝転がって小説を楽しめるように、社会科学に偏っている語彙力を標準化することである。「必要は発明の始まり」だし、「好きこそ物の上手なれ」という。

そうした平穏な日々のなかで事件が起きた。自宅のトイレが詰まったのである。

迂闊にも、ラバーカップ(すっぽん)を準備していなかった。スーパーに買いに行く前に、単語検索。「똥어뽕」と出た。動詞「똥다(開ける/通す)」の連用形に擬音語「뽕(ポン)」。「なにそれ早よ!!!」と変な声が出た。

だが、ポンとは開通しなかった。家主にKakaoTalkでSOSを願った。「트래핑을 시도해」(試せ)と返ってきた。固有の商品名は知らなかったが、動詞「트이다(詰まりを解消する)」に擬音語「핑핑(じゃあじゃあ)」の組み合わせだと気づく。いかにも効きそうだ。

それでも、なんどやっても、水はじゃあじゃあ流れなかった。こんななかでも、韓国語クラスタとしては、楽しくてしかたなかった。このネタ、おもしろいし、いつか使える、と。

一般名詞「똥어뽕」も、固有名詞「트래핑」も、実に理(利?)にかなっている。そのものがありありと浮かび、いちど聞くと忘れないネーミングである。商品名としては「이가탄」(이가 탄탄하다[歯が丈夫だ]にかけた歯周病薬)に匹敵する出来だ。

…トイレはどうなったかって? ChatGPTに「화장실이 막혔어요. 똥어뽕도 트래핑 써봤는데 물이 내려가지 않아요(トイレが詰まりました。똥어뽕も트래핑も試してみたんですが、水が流れません)」と話しかけると、「베이킹 소다와 식초 사용하기(重曹と酢の使用法)」など4つの方法をすぐに詳しく教えてくれた。それでも無理なら、「변기 막힘이 심각한 상태일 수 있으니 배관 전문가를 부르는 게 좋지요(トイレ詰まりが深刻な状態かもしれないので、配管の専門家を呼ぶのがよいでしょう)」とダメ出し、いや助言。結局、プロに助けてもらったのだった。

通じないときこそ、チャンスである。別の方法を試す。誰かに助けを求める。プロに教わる。そうすることで、「わたし」の学ぶ方法や姿勢を根本から見直していく。

別の日。在韓歴40年の大先輩の記者にトルコ料理（グローバル・シティのソウルでは、さまざまなエスニック料理を楽しめる）をご馳走になった。ソウルにいる「わたし」が、このタイミングで、何を、どのように書くのかについて考え抜かないと、意味がないというひとことがグサリときた。プロフェッショナルの流儀を目の当たりにし、今も胸がチクチクする。

先日、話題を呼んだミン・ヒジン氏（NewJeansのプロデューサー）の記者会見はライブ中継され、どこにいても、誰でも記事を書けた。それこそ、生成AIに記者会見の動画を解析させると、「無難な」要約くらいなら、瞬時に「吐き出して」くれる。そのなかで、生身の人間、この「わたし」にしか書けない記事、生身の教員しかできない授業は何なのか、考え抜く必要がある。

そのためには、「何を」「誰に」届けたいのか、その人は何を知りたいのかを想像したい。上記の例だと、1回目の記者会見（2024年4月25日）は「개저씨들（くそジジイども）」に対する不平不満にリアルタイムで共感してもらうこと、2回目（同年5月30日）は親会社に対して和解を申し入れることが核心である。それを日本の読者に伝えることで、K-POPに限らず、芸能事務所のあり方や「推し」とファンダムの関係などを見直すキッカケになればいい。

この本は、韓国語で／に「葛藤」している「あなた」に届けたい。初級はひととおり終えただけで、同じところでグルグル回っていて、もどかしくてならない「あなた」になんらかのヒントにしてもらいたい。韓国語に限らず、「ことば」が通じない、これまでのやり方では行き詰まっている「あなた」の「똥어똥」にしてほしい。

巻末の「キーワード索引」は「漢字語」「中級」といった定番のものだけでなく、「不安」「勇気」「好き」「試行錯誤する」「繰り返す」といった感情や行動に焦点をあてた。主語＝主体は「学習者」である

「わたし」たちだ。

韓国語セカイを生きる。韓国語セカイで生きる。ことばとともに、
なんどでも生き直す。人生という旅路^{ライフクエスト}=探求を、「いま・ここ」を楽しもう。

欧文

- AI翻訳 (AI、機械翻訳)…………… 6, 11, 18, 51, 100-101, 194, 208-209, 259-260, 262
 ChatGPT…………… 4-6, 208, 259, 261
 KakaoTalk…………… 53, 70, 173, 179, 188-189, 261
 K-POP…………… 35, 76-78, 175, 196, 219, 234, 253, 262
 LINE…………… 3, 101, 188, 207, 215
 Netflix…………… 35, 74, 147, 183
 SNS…………… 49, 75-78, 87, 130, 173-175, 177, 179-190, 228-230, 249
 TOPIK…………… 57, 79, 118, 128, 199
 TPO (時・場所・場面)…………… 3, 7-8, 75, 87, 101, 103, 260
 YouTube (YouTuber)…………… 74, 81, 87, 95

ア行

- アイデンティティ…………… 27, 116, 130-131, 221
 憧れる…………… 21, 76, 155, 165, 190, 242, 244, 246
 安心する (安堵)…………… 4, 27, 57, 244, 253
 痛い (痛感)…………… 23, 68, 81, 101, 111, 196
 違和感…………… 7, 43, 58, 62-63, 99, 166, 169-170, 195, 250
 うれしい…………… 49, 53, 73, 118, 129, 158, 173
 推し…………… 21, 75, 82, 173, 196, 198, 253, 262
 落ち込む…………… 58, 77, 197
 おもしろい…………… 4, 21, 25, 31, 45, 70, 121, 132, 135-136, 143, 152, 175, 178,
 185-186, 196, 207-208, 239, 255, 261

カ行

- 学習者…………… 10-11, 55, 73-81, 86-88, 117-129, 133, 140-142, 147, 153, 157, 169-172,
 177-182, 185-186, 189-190, 199-202, 210, 260, 262

学習方法 (学習ストラテジー、学習法) ……………	10, 74-75, 81-82, 86, 88, 116-119, 121-133, 213 (+各人物紹介)
韓国映画 ……………	33-42, 44, 47-51, 61, 82, 123, 127-128, 147-148, 173, 239
韓国ドラマ (Kドラマ) ……………	35, 47, 51, 57, 61, 71, 74, 76-78, 82, 92, 119, 129, 147, 151, 173, 175, 179, 183, 196, 198, 219
漢字語 ……………	4, 6, 19, 60, 62-64, 89-90, 94, 98, 111, 129, 219, 262
傷つく ……………	160, 245, 248, 255
気づく ……………	39, 44-45, 74, 84-85, 104, 155-158, 173, 203, 243, 246, 250, 261
厳しい ……………	22, 57, 60, 234
緊張する ……………	24, 58, 120, 137, 162
工夫する ……………	18, 23, 34, 40-41, 94, 117
繰り返す (続ける、重ねる、反復、継続) ……………	3, 21-23, 30, 33, 41, 47, 51, 57, 71, 78, 83-84, 87-90, 94, 96, 100, 105, 109, 117-122, 129-132, 141, 147, 173, 198, 213, 219, 249, 260, 262 (+各人物紹介)
苦しい (苦痛、苦い) ……………	15, 30, 59, 141, 244-245
苦勞する (苦戦、苦手) ……	67-68, 71, 119-120, 128-129, 132, 180, 185-186, 204, 229
経験する (体験) ……………	7, 20-24, 30-31, 36, 42-43, 46-50, 55-62, 67, 73, 118-122, 130-133, 171, 176, 202, 222, 227-228, 249, 255
言語学 ……………	102, 111, 118, 136-138, 142, 148, 152, 156-157, 172, 174, 178, 193, 200, 203, 219, 242, 245-246, 256
後悔する (悔しい、懺悔) ……………	3, 21, 148, 254
向上する ……………	91, 120, 124-125, 199-201
語学堂 ……………	4, 197-199
国立国語院 ……………	93, 99, 142
コミュニケーション ……………	3, 8, 25, 56, 58, 61-62, 101-102, 120, 156-162, 167-174, 178, 180, 184, 188-190, 197, 202, 205-206, 210, 215, 252
コリアン・ディアスポラ ……………	28, 233
怖い (恐怖、恐れ) ……………	24, 106, 120, 186

サ行

試行錯誤する ……………	18, 22, 102, 117, 260, 262
--------------	----------------------------

辞書 (辞典).....	15, 18, 22, 57, 60-64, 67-69, 78, 92, 99, 135, 143-145, 150, 167, 178, 205, 239
自信 (自己肯定感).....	4, 53, 57-58, 60-62, 67-70, 84, 120, 129-130, 132
失敗する.....	115, 121, 205, 208, 249
シャドーイング.....	71, 81-82, 89, 119
準備する.....	48, 100, 109, 137, 229
好き (好む).....	78, 82, 85-88, 92, 117, 129-130, 155, 160, 165, 168, 176, 193, 196-197, 219, 243, 261-262 (+各人物紹介)
ストレス.....	24, 120, 160, 255
成長する.....	19-20, 24, 71, 201, 224, 245
想像する (想像力).....	37, 55, 70, 104, 109, 169, 173, 197, 206, 213, 247, 252, 256, 262

夕行

大学院.....	18, 20, 22, 49-50, 100, 118, 120, 130, 197-198, 200, 229, 259
対話する.....	104, 252, 256, 259
楽しい.....	4, 10, 22, 51, 55, 57, 76, 88, 92, 116-119, 121, 129, 133, 147, 153, 155, 179, 189-190, 196-197, 206-207, 261-263
チャレンジする (挑戦、試練).....	20-21, 57, 115, 130, 132, 213
チャンス (機会).....	3, 19, 24, 26, 28-29, 38, 48-51, 61, 66, 81, 91, 117-118, 124, 127, 129-130, 135, 155, 171, 226, 229, 245, 260, 262
中級 (中上級).....	4, 18-19, 53, 57, 72, 74-75, 78-88, 100-101, 118-119, 122, 125-128, 133, 147, 155, 180, 200, 203, 206, 208, 259-260, 262 (+各人物紹介)
朝鮮語.....	7, 61, 64, 191, 220-232, 234-237
通訳.....	4, 6, 16-17, 21-26, 29-30, 49-51, 56, 61, 63, 89, 94-95, 99-100, 106, 109, 131, 207, 209
つながる (人とのつながり、えにし).....	30, 104, 171, 227, 254
出会う (再会).....	7, 8, 15, 18-19, 21, 27, 30-32, 70, 80, 104, 131, 135, 197, 231, 254
ディクテーション.....	71, 119
努力する (努める).....	15, 23-24, 32, 48, 51, 56, 59, 75, 81, 83, 86-87, 123-124, 127, 197, 219

ナ行

- 悩む …………… 15, 36-37, 39, 41, 43, 48-49, 53, 69, 75, 100, 111, 131, 139, 142, 208
日韓関係 …………… 16, 26, 28-29, 55, 63, 66, 77, 88, 91, 96, 99, 195, 210, 212
ネイティブ …………… 4, 8, 21, 30, 40, 46-50, 53, 55, 60, 69, 74, 80, 84, 120, 123-124,
126-128, 168, 201, 203

ハ行

- ハードル …………… 58, 68, 120, 141, 203
恥ずかしい …………… 18, 61, 84, 160, 205, 208, 229
ハン検 (ハンブル能力検定試験) …………… 71, 76-79, 85, 88, 118, 132, 180
標準語 (標準的/非標準的) …………… 42, 138-140, 148, 175-177, 179, 182, 189,
202, 219, 227, 232
不安 (焦り、危機感) …………… 7, 18, 58, 60, 106, 122, 124, 255, 262
方言 …………… 42, 136, 138-140, 142, 148, 223, 229, 235-236, 242, 245
母語/非母語 …………… 8, 10, 47, 50, 59, 138, 141-143, 157-158, 169-170, 174-175,
177-180, 189-190, 197, 199, 202-204, 207, 213, 223-224, 234, 240-257
ポライトネス …………… 101, 156, 159-162, 169-170
翻訳する (トランスレーション、訳出、直訳など) …………… 4-6, 10, 24-25, 34-43,
46-51, 58, 61, 63-67, 69-70, 90, 92, 94-101, 104, 109, 111, 123,
131, 173, 175-177, 190, 199, 202, 205, 208-209, 215, 239, 256

マ行

- 見直す …………… 3, 90, 103, 122, 213, 260, 262
難しい …………… 22, 46-49, 55, 67-69, 80-83, 92, 117, 121, 140, 151-152,
159, 168, 205, 210, 213, 232
もどかしい …………… 8, 160, 262

ヤ行

- やりがい (やる気、モチベーション) …………… 22, 24, 26, 49, 118-119, 193
勇気 (度胸) …………… 7, 21, 106, 120, 122, 262

友人（友達）…………… 3, 6, 16, 31-32, 39, 53-54, 57, 60, 67, 70, 86, 99, 103,
119, 123, 159, 173, 219, 254

喜ぶ…………… 18, 102, 237, 254

ラ行

留学する…………… 4, 17-18, 29, 49, 54-55, 57, 61, 83, 89, 91, 100, 115, 119-120,
173, 197, 222, 227, 229, 235

練習する（トレーニング）…………… 21, 56, 81, 84-89, 115, 119-124, 127-128,
41, 155, 193, 208, 260